

2025/5

月

TSUDOI

# 【増刊】GOOD銘柄 継続分析レポート(5月)

TSUDOIはブロックチェーンと仮想通貨に特化した情報配信サービスです。

## 本レポートコンテンツ

### ◆ 『狙い目：中堅銘柄』 継続分析ガイド

過去Goodマークを付与した中堅銘柄の継続分析

### ◆ 『大穴：新規銘柄』 継続分析ガイド

過去Goodマークを付与した中堅銘柄の継続分析

このレポートはTSUDOIの有料サービス、スタンダードプランの加入者専用の情報です。レポートの内容は個人的な使用のみを対象としており、商業的な利用は事前の許可が必要です。

レポートの読み方については、一覧に含まれる [「必見！成功へ導く3つの仮想通貨投資術」](#) をご覧ください。

## 継続分析レポートで中堅・大穴銘柄を調査する理由

中堅・大穴銘柄は、成長のポテンシャルが大きい一方でリスクも高いため、注意深い分析と継続的なモニタリングが重要です。これらの銘柄に特に注目し、直近の潜在的な成長機会を探るとともにリスクを管理する分析を行っています。TOP銘柄とは異なる視点から、潜在的な大きなリターンを狙うための情報を提供しています。



とは TSUDOIリサーチチーム内では、関連ニュースから中長期的に注目を集め、価格高騰が期待できると予想した銘柄にGoodマークを付けています。



有料  
レポート

# 過去週次レポート掲載 中堅銘柄 継続分析ガイド

## 『狙い目：中堅銘柄』 継続分析ガイド

### 調査・分析方法について

過去週次分析レポートにて高評価（Good）を付与した銘柄に関する継続調査。

この調査では、以下の点に着目して分析を行います。

- 直近の注目ニュースの有無：過去高評価を得た銘柄が、その後も新たな注目を集めるニュースが発生しているかどうかを調査します。
- 直近の重要指標推移：銘柄の市場でのパフォーマンスや他の重要な指標がどのように推移しているかを調査します。

これらの要素を総合的に評価し、投資家にとって有益な情報を提供することを目指しています。

### 2024年以降のGoodマークを付与した銘柄一覧

銘柄	レポート掲載日	銘柄	レポート掲載日	銘柄	レポート掲載日
Ethereum Name Service	2024年 1/12, 7/26	Biconomy	2024年 4/5	Aerodrome Finance	2024年 9/20
Raydium	2024年 11/22, 2025年 1/24	Metis	2024年 4/26, 5/10	Worldcoin	2024年 11/1
Virtuals Protocol	2024年 12/13	Taiko	2024年 6/7, 11/13	ai16z	2025年 1/17
Starknet	2024年 3/8	Hyperliquid	2024年 12/20	Ethena	2025年 2/7
Manta Network	2024年 3/8, 7/5	Ondo	2024年 6/7, 7/26, 8/9, 9/26, 11/1, 11/22, 12/6	Pyth Network	2025年 2/21
Axelar	2024年 3/14	MANTRA	2024年 7/19	Saros	2025年 4/4
		Jupiter	2024年 8/2	Helium	2025年 4/18
				Stacks	2025年 4/25

※2023年 Goodマーク付与銘柄：ORDI, Celestia, Blur, Terra Classic

## Ethena : ENA

### 直近の注目ポイント：Ethena、USDe証明書公開で透明性強化へ

5/6 EthenaがUSDe資産のカストディ証明書を公開し、総供給量が47.65億ドルに達したと発表しました。Chaos Labsらとの提携で透明性と信頼性を強化し、資産保管状況を明示したことで市場から高評価を得ています。透明性向上を背景に、中長期的には規制対応や機関投資家からの需要増が期待され、ENAの安定成長が見込まれます。

## 継続分析による調査結果(継続分析で特筆すべき注目要因がなかった銘柄)

## Raydium : RAY

### 直近の注目ポイント：LaunchLab開始でRaydiumトークン需要増

Raydiumが新たにトークン生成プラットフォーム「LaunchLab」を開始(4/16)し、Pump.funとの連携終了後わずか10日で1万以上のトークンを生み出しました。取引手数料の一部を自社トークンRAYの買戻しに利用する仕組みで、RAY価格は8%以上上昇。Solana上での競争が激化する中、LaunchLabの利便性や新機能を武器に、今後中長期的に需要拡大が期待されます。

## Starknet : STRK

### 直近の注目ポイント：Starknet、BTCステーキング導入でSTRK需要増へ

4/28 Starknetが2025年Q3にビットコインステーキングを導入予定を発表。BTCを担保にSTRKで報酬を得られ、流動的なステーキングや複雑なDeFi戦略にも対応可能です。これによりBTC保有者に新たな収益機会を提供し、ネットワークセキュリティも強化。中長期的にはBTC利用者増加や関連サービス拡充に伴い、STRKの需要拡大が見込まれます。

## Manta Network : MANTA

### 直近の注目ポイント：ディープフェイク利用の高度攻撃

4/18 Manta Networkの共同創業者が、Zoomを利用した高度なフィッシング攻撃の対象となった。攻撃者はディープフェイク動画を使って知人を装い、偽のZoomアップデートを促してマルウェアを感染させようとした。こうした高度化する攻撃手法への対策強化が急務であり、Mantaのセキュリティ対策が評価されれば、信頼性向上により中長期的な需要拡大につながる可能性がある。

## Metis : METIS

### 直近の注目ポイント：AI特化L2「Hyperion」登場

5/7 AI特化型のレイヤー2「Hyperion」のテストネットを開始した。MetisVMや並列トランザクション処理、分散型センサーなどの革新的技術を導入し、AI・ゲーム・DeFi分野での高い性能を実現。中長期的にはAIのオンチェーン実装が進む中、Hyperionが中心的プラットフォームとして位置付けられ需要が大きく拡大する可能性が高い。

## Ondo : ONDO

### 直近の注目ポイント：Ondo、ETH-Solana間で機関級ブリッジ開始

5/1 Ondo FinanceがLayerZeroと提携し、機関投資家水準のEthereum-Solana間クロスチェーンブリッジを開始しました。これによりOndoの利回り付きステーブルコイン「USDY」の資金移動が容易になり、流動性が大幅に改善。RWA市場の拡大を背景に、今後USDYを中心としたONDO関連サービスへの需要が中長期的に増加すると予想されます。

## Jupiter : JUP

### 直近の注目ポイント：Jupiter、NFT市場へ本格参入

Jupiterは、最近Solana基盤のNFT配信プラットフォームDRiP Hausを買収し、NFT市場への進出を本格化した。さらに人気NFT「Doodles」と提携(5/6)し、DRiPのNFTクリエイター向けにDOODトークンのエアドロップを提供。この戦略的なNFT事業の拡充により、NFT市場の活性化とともに、中長期的なJUPの需要増加が期待される。

## Worldcoin : WLD

### 直近の注目ポイント：Worldcoin、生体データ問題でケニア撤退危機

5/5 Worldcoinはケニアで収集した生体データをプライバシー侵害により削除するよう裁判所命令を受け、今後同国でのデータ収集も禁止されました。世界各地で類似の懸念が高まっており、規制強化の影響で成長の鈍化が懸念されます。長期的需要拡大には、透明なデータ管理体制の確立と規制対応が必須であり、その成否が鍵となります。

## ai16z : AI16Z

### 直近の注目ポイント：AI16Z、Auto.fun採用で需要増の期待高まる

AI16Zは直近で、4/14 AIエージェントプラットフォーム「Auto.fun」のネイティブトークンに正式採用されました。このプラットフォームはノーコードでAIエージェントを作成・運用でき、トークン利用が必須化されることでAI16Zの流通量が抑制され、需要増につながる可能性があります。今後、Auto.funの利用拡大次第でAI16Zの中長期的需要が増加すると予想されます。

## Saros : SAROS

### 直近の注目ポイント：Saros、新流動性モデル導入でSolana改革へ

SarosがSolana基盤のDeFi改革を目指し、新たな流動性モデル「DLMM v3」を発表(4/24)しました。トレーディング効率を改善し、流動性提供範囲のカスタマイズやLP報酬の向上を可能にします。中央集権型取引所への信頼が揺らぐ中で、DLMMの導入が分散性と安全性を高めるため、中長期的にSAROSへの需要拡大が期待されます。

## Helium : HNT

### 直近の注目ポイント：Helium、AT&T提携で米通信市場へ本格進出

Heliumは米国大手通信企業AT&Tとの提携を発表しました。この提携により、約9万3,000カ所の分散型ワイヤレスホットスポットがAT&Tの通信網強化に活用されます。ホットスポット運営者は報酬としてHNTトークンを獲得。通信インフラの分散化が進む中、ネットワークの拡大に伴い、中長期的にHNT需要が大きく増加すると予想されます。

## Stacks : STX

### 直近の注目ポイント：Stacks、SuiのsBTC統合でBTC DeFi需要増

4/24 StacksはSuiがBitcoin基盤の分散型資産「sBTC」を統合し、Stacksネットワークをサポートすることで注目を集めています。これによりBTCが能動的な資産としてDeFi市場での利用が促進され、STXネットワークの需要増に繋がる見込みです。機関投資家の関心も高まっており、中長期的にSTXへの需要拡大が期待されます。

直近1カ月のGoodマークの継続調査にて、新しい注目要因が見当たらなかった銘柄となります。

進捗なし：Ethereum Name Service（フォロワー数4カ月連続増加）、Virtuals Protocol（フォロワー数8カ月連続増加）、Hyperliquid（フォロワー数12カ月連続増加）、MANTRA、Aerodrome Finance（フォロワー数12カ月連続増加）、Pyth Network（フォロワー数8カ月連続増加）

徐々にフォロワー減少中：Axelar、Biconomy、Taiko

# 過去週次レポート掲載 大穴銘柄 継続分析ガイド

## Goodマーク大穴・新規銘柄の継続調査

### 調査・分析方法について

過去週次分析レポートにて高評価（Good）を付与した銘柄に関する継続調査。

この調査では、以下の点に着目して分析を行います。

- 直近の注目ニュースの有無：過去高評価を得た銘柄が、その後も新たな注目を集めるニュースが発生しているかどうかを調査します。
- 直近の重要指標推移：銘柄の市場でのパフォーマンスや他の重要な指標がどのように推移しているかを調査します。

これらの要素を総合的に評価し、投資家にとって有益な情報を提供することを目指しています。

### 2024年以降のGoodマークを付与した銘柄一覧

銘柄	レポート掲載日	銘柄	レポート掲載日	銘柄	レポート掲載日
Xai	2024年 1/19	Saga	2024年 4/12	Morpho	2024年 12/6
Manta Network	2024年 1/19	Omni Network	2024年 4/19	NAVI Protocol	2024年 12/13
Ondo	2024年 1/26	Merlin Chain	2024年 4/26	Orca	2024年 12/13
Metis	2024年 1/26	BounceBit	2024年 5/17	Pangolin	2024年 12/20
Dymension	2024年 2/9	Taiko	2024年 6/7	Origin Protocol	2024年 12/6
Aevo	2024年 3/14	io.net	2024年 6/14	Velodrome Finance	2024年 12/20
ether.fi	2024年 3/22	Artificial Superintelligence Alliance	2024年 7/5	DeepBook Protocol	2025年 1/10
Ethena	2024年 4/5	LayerZero	2024年 7/5	Arcana Network	2025年 1/17
Wormhole	2024年 4/5	SaucerSwap	2024年 11/22	RedStone	2025年 3/14

※2023年 Goodマーク付与銘柄：Arkham

※今回の継続調査にて新規Goodマーク付与する銘柄はありませんでした。  
※Manta Network、Metis、Taiko、Ondo、Ethenaは中堅銘柄として注目要因を考察しておりますので、新規銘柄のトピックでは割愛致します。

## RedStone : RED

### 直近の注目ポイント：RedStone、BCAPトークンの価格フィード提供開始

RedStoneがSecuritizeと提携し、BCAPトークン（約1.5億ドル相当）の価格フィードをZKsync上で提供開始(5/6)しました。これにより、機関投資家向け資産がDeFiプロトコルと直接連携可能になり、担保や貸付市場の拡大が期待されています。RWA市場の急成長を背景に、中長期的にRedStone（RED）の需要増と市場価値の向上が見込まれます。

## 継続分析による調査結果(継続分析で特筆すべき注目要因がなかった銘柄)

## Dymension : DYM

### 直近の注目ポイント：DYM、全チェーン対応のロールアップ導入開始

4/28 Dymensionは、あらゆるブロックチェーン上で簡単にロールアップを導入できる新サービス「Beyond」をリリースしました。これにより、企業は低コストかつ迅速にロールアップを展開可能に。既存チェーンの変更なしに互換性が得られるため、ブロックチェーンの企業導入促進が期待され、中長期的にDYM需要の増加につながる見込みです。

## Ether.fi : ETHFI

### 直近の注目ポイント：Ether.fi、米国でネオバンク展開開始へ

4/24 Ether.fiは、従来の再ステーキングサービスに加えて銀行機能を提供するネオバンクに転換し、米国で現金カードの提供を開始しました。これにより、利用者は仮想通貨を担保に法定通貨を日常的に利用可能となります。規制対応を進めつつ利便性を向上させたことで、中長期的には一般ユーザー層への普及拡大とETHFI需要の成長が期待されます。

## Wormhole : W

### 直近の注目ポイント：Wormhole、ブラジル大手と提携で資産流動性拡大へ

5/1 ブラジル最大級の取引所Mercado BitcoinがWormholeと提携し、2億ドル規模のトークン化資産を30以上のブロックチェーンに拡張しました。これにより国際的な流動性と相互運用性が強化され、特にプライベートクレジットやカーボンプレート等のトークン化推進で、今後Wormholeの中長期的な需要増が期待されます。

## Omni Network : OMNI

### 直近の注目ポイント：OMNI、SolverNet導入でUX向上・需要拡大へ

Omni Networkは新製品「SolverNet」の普及を加速するため1,000万ドル規模のユーザープログラムを開始。最初の導入先であるSymbioticと連携(4/22)し、複雑なクロスチェーンプロセスを大幅に簡素化してユーザー体験を向上させます。今後、他アプリへの展開とともに、開発者・ユーザー双方の需要拡大が見込まれ、中長期的なOMNIの市場拡大が期待されます。

## io.net : IO

### 直近の注目ポイント：io.net、新体制で分散型AIインフラ市場拡大へ

io.netは、4/23 共同創業者のTory Greenが財団理事長に就任、CTOのGaurav Sharmaが新CEOとなり、AI向け分散型インフラ基盤として次の成長段階へ移行しました。中央集権的なAIインフラへの懸念から、分散型GPUクラウドサービスの需要が高まっており、io.netはその中心的役割を担うことから、中長期的にIOトークンの需要増加が期待されます。

## DeepBook Protocol : DEEP

### **直近の注目ポイント：Binance無期限契約開始でDEEP取引量急増**

DeepBook Protocol (DEEP) は、4/22 BinanceがDEEP無期限契約の提供を開始したことで、トークン価格が一時的に30%急騰しました。主要な取引所への上場は流動性の増加を促し、投資家の関心を高めています。Suiブロックチェーン上の主要DeFiプロジェクトとして、今後も取引量の増加や新規ユーザー獲得が見込まれ、中長期的な需要拡大が期待されます。

直近のGoodマークの継続調査にて、新しい注目要因が見当たらなかった銘柄となります。

進捗なし：Xai、BpinceBit、LayerZero（フォロワー数9カ月連続増加）、SaucerSwap（フォロワー数6カ月連続増加）、Morpho（フォロワー数8カ月連続増加）、NAVI Protocol（フォロワー数5カ月連続増加）、Orca（フォロワー数12カ月連続増加）、Pangolin、Origin Protocol、

徐々にフォロワー減少中：Aevo、Saga、Merlin Chain、Velodrome Finance、Arcana Network

#### 引用元：

本レポートにおけるデータおよび分析は、以下の情報源を基にしています。

- CoinMarketCap : <https://coinmarketcap.com/>
- CoinCarp : <https://www.coincarp.com/>
- Messari : <https://messari.io/>
- TokenInsight : <https://tokeninsight.com/>

#### 注意事項

本レポートは、投資助言を提供するものではありません。提供される情報は、一般的な解説に限定されており、個別の投資判断に直接適用するものではありません。投資に関する最終決定とその結果について、当方は一切の責任を負いません。レポートの内容は個人的な使用のみを対象としており、商業的な利用は事前の許可が必要です。商業利用に関するお問い合わせは下記よりご連絡ください。

発行元：TSUDOI

メールアドレス：info@sigmainc.co.jp

ウェブサイト： <https://tsudoi-platform.co.jp/>